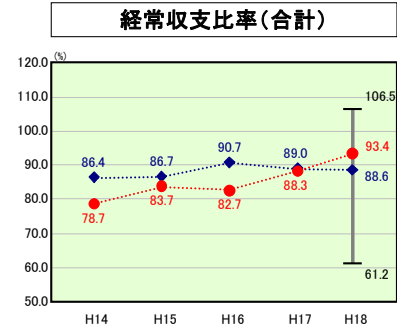
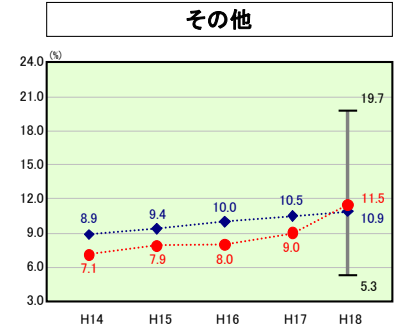
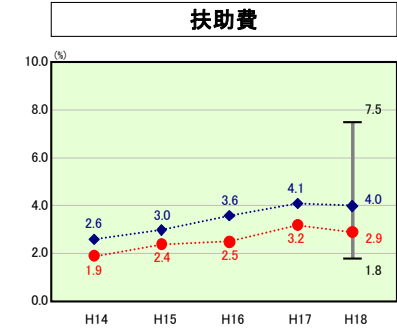
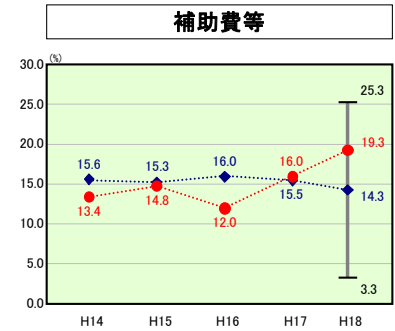
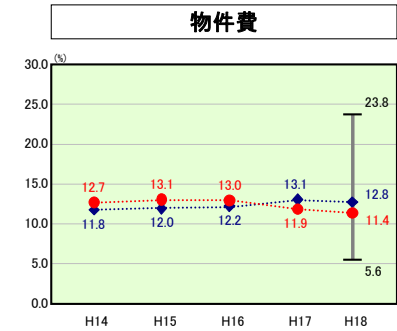
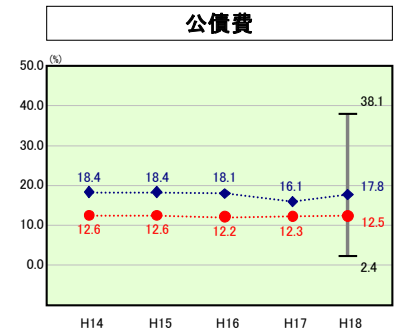
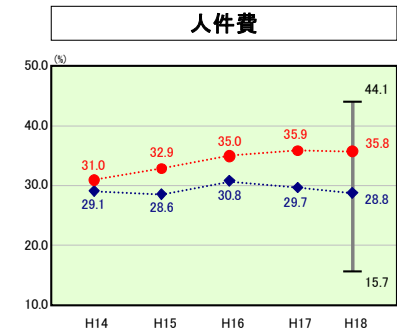
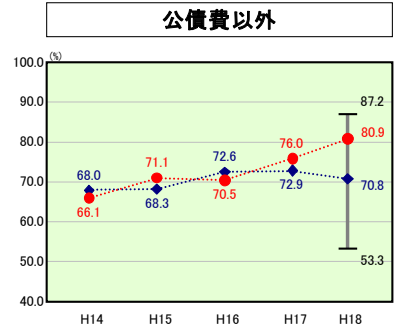
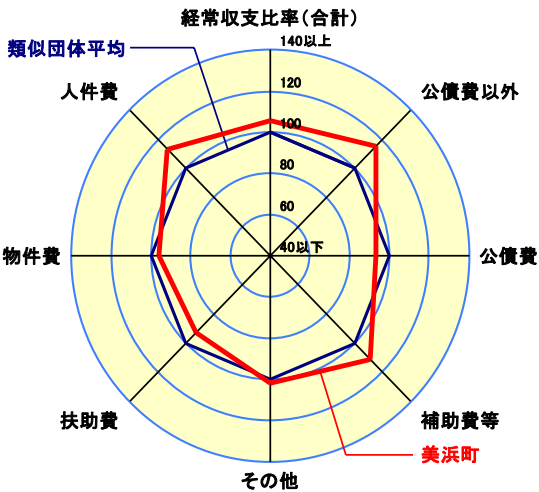


経常収支比率の分析



当該団体値	●	人口	11,179人(H19.3.31現在)
類似団体内平均値	◆	面積	152.32 km ²
類似団体内最大値	┘	歳入総額	8,213,126千円
類似団体内最小値	└	歳出総額	7,867,588千円
		実質収支	299,486千円



※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)

2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。

3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 人件費
地理的条件や原子力、地域改善対策等特殊な行政需要により職員数が多いため類似団体と比較して高くなっている。平成27年度までに15%削減を目指し積極的に人員削減に努める。
- 補助費等
環境衛生組合によるリサイクルプラザや堆肥化施設等の整備に伴う元利償還が始まったことにより負担金が大幅に増加していることから、類似団体の平均を上回っている。この償還金は今後も続くことから、今後、その他の補助金や負担金について補助金等適正化委員会が審査を行い、廃止や見直しを行う予定である。
- その他
類似団体平均を若干上回っているのは、老人医療事業会計で医療費の増加により繰出金が大幅に増加しているためである。今後、医療費削減のため二重受診の防止や健康教室の開催等により医療費の抑制に努める。
- 普通建設事業費
人口1人当たり決算額が類似団体平均を上回っているのは、給食センターの建設や漁港整備を行ったためである。今後も、老朽化した学校や保育園の整備が必要であるが、財源に応じた必要最小限とした建設規模、年度割計画を策定し事業費の抑制を図る方針である。